

議会だより

おながわ

No.

178

令和6年10月18日



親子で運動の秋

| | |
|--------------------------|----|
| 出島架橋開通へ向けた整備（9月定例会） | 2 |
| 財政は良好！効果的に使われたのか | 4 |
| ズバリ！町政を問う（6議員が一般質問） | 10 |
| 原発視察でチェック体制強化（委員会レポート） | 17 |
| 盆踊り復活（8月だヨ！全員集合 おながわ盆踊り） | 20 |

9月定例会

会期 9月3日～10日

初日に6人の議員が一般質問を行い、一般議案4件、条例2件、補正予算2件、決算認定7件、発議案1件を審議し、すべて原案どおり可決し閉会しました。

一般議案

契約の締結

◇令和6年度万石浦漁港
針浜地区物揚場等整備
工事

- ・契約金額
1億95580万円
- ・契約相手
株式会社丸本組

女川営業所

◇女川町国民健康保険条例の一部改正
マイナンバーカードと健康保険証が一体化されることに伴い所要の改正を行う。

◇女川町母子・父子家庭医療費の助成に関する条例等の一部改正
マイナンバーカードによるオンライン資格確認が導入されたことに伴い関係条例の一部を改正する。

改修工事

- ・契約金額
3億6300万円
- ・契約相手
丸本組・田中建設小

型漁船船揚場改修工
事企業体

◇小型漁船船揚場の台
車、レール、ワインチ、
本体ブロック製作等の
更新を含む改修工事。

条例の制定

◇女川町母子・父子家庭医療費の助成に関する条例等の一部改正
マイナンバーカードによるオンライン資格確認が導入されたことに伴い関係条例の一部を改正する。





出島架橋開通へ

| | | | |
|----|-------------------------------|---------|---|
| 歳出 | ◇車両購入費 | 500万円 | ① |
| | ◇地域おこし協力隊起業等活動費補助金 | 300万円 | ② |
| | ◇民間賃貸住宅空室支援金 | 293万6千円 | ③ |
| | ◇女川町燃料価格高騰対策運送事業者支援金 | 560万円 | |
| | ◇電力利用事業者電気料金支援金 | 2610万円 | |
| | ◇ビジターバース等整備工事 | 1億400万円 | |
| | ・プレジャーボート等寄港船用浮桟橋及び觀光船用浮桟橋を整備 | | ④ |
| | ◇不動産鑑定業務委託料 | 183万7千円 | |



出島で活動する協力隊

一般会計 補正予算

① 出島架橋開通に伴う町民バス出島便の新設

歳入歳出にそれぞれ2億9119万1千円を追加し、予算総額を101億9448万5千円としました。

問 運行体系等の検討も含め、課題のあるところですが、500万円の車両購入費の説明は。

答 島民アンケートの結果4割の住民に利用意向があり、北浦線では定員超過の懸念が生じるため、出島線の車両購入費です。

② 地域おこし協力隊の経費は全額国費

問 地域おこし協力隊員が出島地区やアスヘノキボウ等で活躍していますが、本町での現状は。

答 本町では9人の隊員が活動しています。隊員への謝礼が1年で320万円、必要に応じて200万円。起業活動費補助金は1人10万円です。

③ 民間賃貸住宅空室支援は5年間

問 入居率80%未満に対する20%の空室支援ということですが、現在の民間賃貸住宅の入居率は。

答 8月末で8物件52戸分で入居が7戸となり、13・5%です。完成のタイミングが春の異動期の後ということもあると思われます。

④ 今のところ離半島部のみ

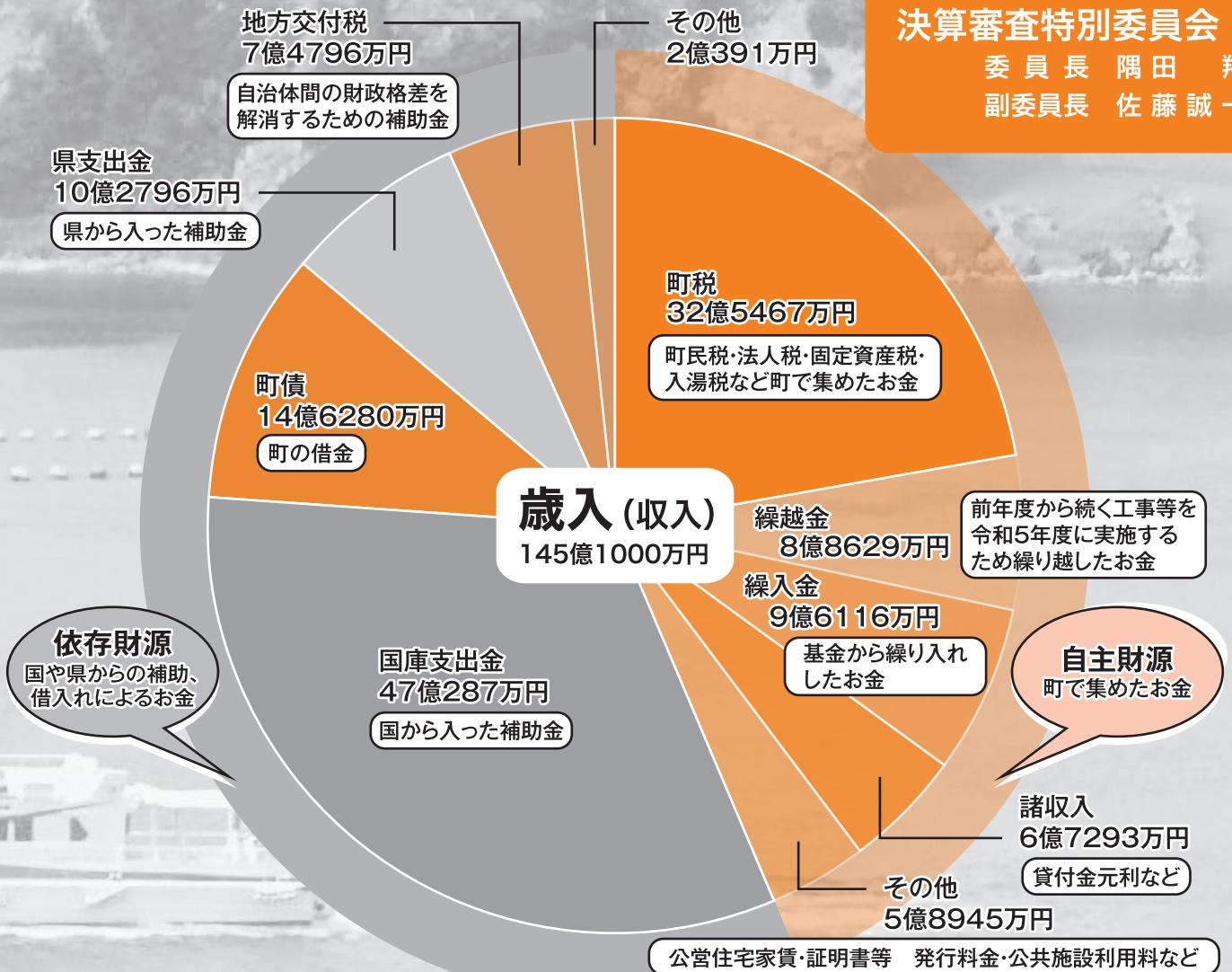
問 離半島部の災害公営住宅は、払下げ可能ということでの不動産鑑定業務委託料の説明は。

答 離半島部の災害公営住宅への調査の結果、大石原、指ヶ浜、出島、寺間の6棟分の鑑定をかけるものです。



完成直後の民間賃貸住宅

財政は良好



町営住宅

家賃滞納への対応は

問 住宅・駐車場使用料の滞納額増加について今後の対応は。

答 現年度分を優先しつつ、余力の中で過年度分の収納を促す働きかけをし、滞納繰越にならないよう努めます。



滞納繰越 281万円

固定資産税

滞納繰越分の収入伸びた要因は

問 収入済額が昨年度と比べて、1000万円以上増加している要因は。

答 会社の倒産や所有者の死亡による債務の整理によって納入となったものが2件で約530万円。コロナの影響により納付が滞っていた事業所との交渉をした結果、約580万円の回収に努めることができました。

ふるさと納税

近隣自治体に近づく取組を

問 近隣自治体と億単位の差があります。商店の潤いにも繋がるため、力を入れた方がいいのでは。

答 前年度と比較し増えている傾向です。町のPRとして活用できるよう引き続き努力します。



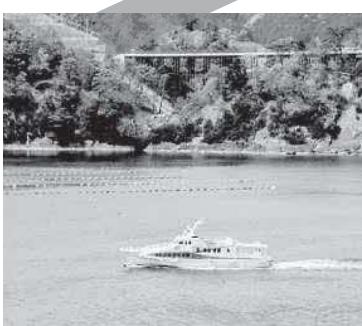
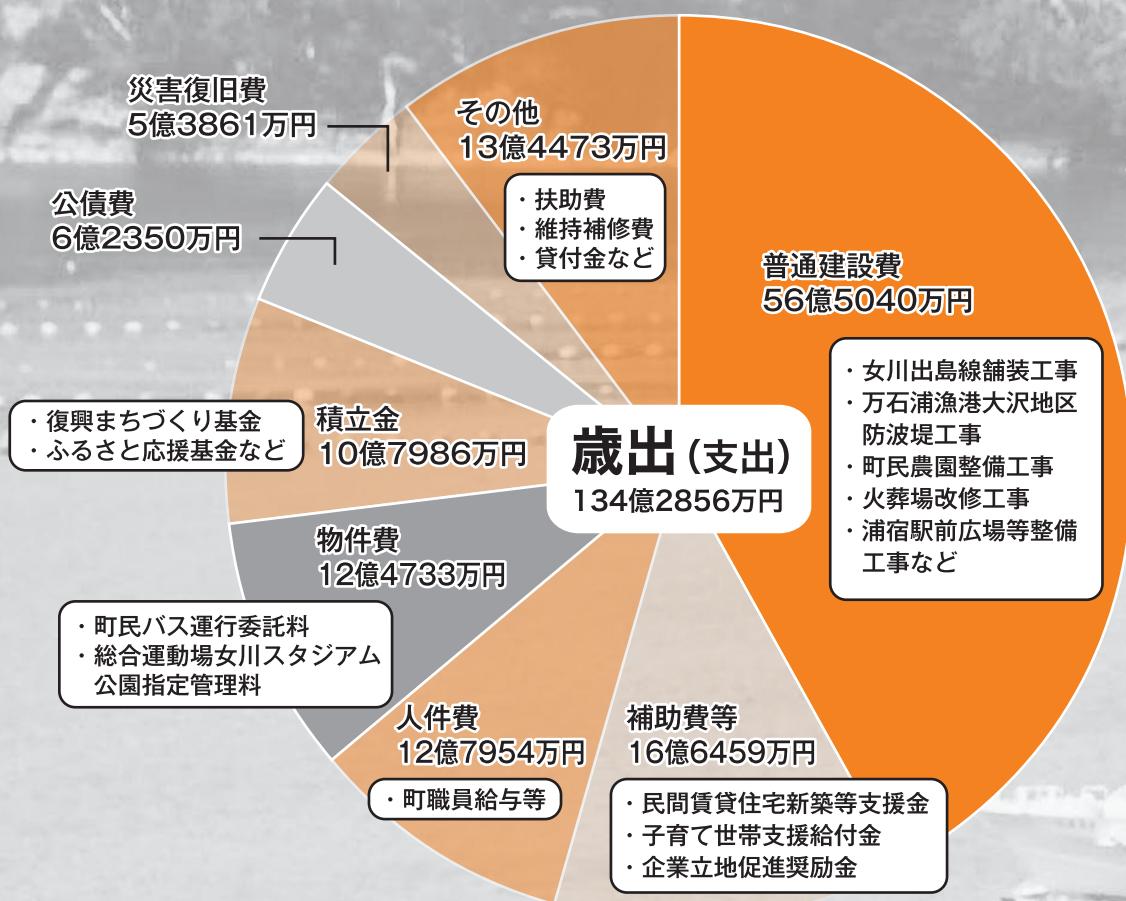
歳入

一般会計

※滞納繰越 前年度までに徴収することを決定したが徴収できなかった歳入のこと。

決算

全会計認定



背景は
島民の足「しまなぎ」

撮影者：斎木 陽仁

撮影地：出島配石遺構
(ストーンサークル)

“町のお金” あなたはどう考えますか？

子どもが天候に左右されず遊べる
室内施設・遊具を充実させてほしい。



30代女性

50代男性

サウナ施設、利用者見込みはあるか。
慎重に進めるべきではないか。



80代女性

移動手段に不安を抱えている。
タクシーを呼んでも断られる事が多く、いざという時、どうすれば…。充実させてほしい。

町民目線の やさしいまちに

PICK UP!

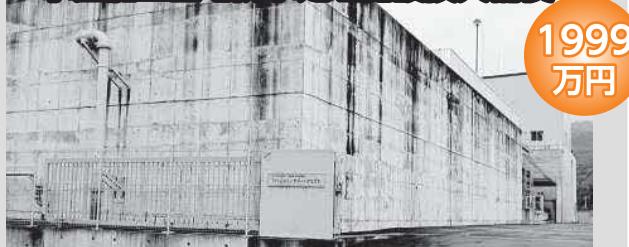
歳出

事業者が増えると良いのですが…

問 昨年よりも300万円程増えた要因と、今後事業者が増える予定は。

答 業務での薬剤費、人件費等の高騰が大きな要因です。現在17事業者が稼働中でこれ以上は難しいのが現状です。

水産加工団地排水処理施設損失補償



1999
万円

水産業界にはかかせない施設

一人暮らしの高齢者に安心を

問 一人暮らし高齢者が安心できる環境づくりのため、利用者増の対策は。

答 区長や地区の民生委員を通じてPRしていきます。

緊急通報装置定期保守点検



70
万円

ひとり暮らしの人を見守ります



付けていることで安心出来ますね。

80才代女性

もっと防草シートを

問 設置場所とシートの耐久年数、坪単価はいくらで、その効果は。

答 役場仮設庁舎跡地周辺の法面と御前浜集会場周辺の2カ所です。平米単価は役場跡地4140円、集会所5240円で耐久性もあり、防草効果大です。

町有地防草シート設置工事



234
万円

御前浜集会所周辺の防草シート

町民の声

傾斜がきつく草刈りも大変なので、残りの部分にも防草シートを。



70才代男性

防犯灯のすみ分けは

問 行政区での設置と町での設置のすみ分けは。

答 行政区での設置は、震災前から津波の影響がなかった所ですが、復興工事と併せて町で設置したものは町の管理となり耐用年数は15年です。

防犯灯設置工事費補助



184
万円

安心安全を守る防犯灯



住みよいまちに

地震対策に安心と安全を

問 町内に危険箇所がいくつあるのかを把握したうえでの計画ですか。

答 令和2年度の危険ブロック調査で43件が対象となっています。現在残りは25件です。



ブロック塀を除却してフェンスに変えました

42
万円

異常気象への対策は

問 具体的にはどのようなものですか。

答 公共施設全ての事務事業で、省資源・省エネルギーの推進、廃棄物の減量化・リサイクルの推進等で令和12年度までの計画です。



太陽光発電を増やしCO₂削減を

313
万円



戸建ての災害公営住宅の屋根にも取り付けてはどうですか。

80才代男性

民間委託でどう変化

問 令和5年1月以降、直営から民間（一般社団法人まちとこ）に委託し、利用者が延べ1000人程増加した要因は。

答 民間のノウハウでLINE活用等により保護者との連絡調整がうまくいっている中の增加だと思います。



709
万円

みんなで楽しく誕生会

市民の声

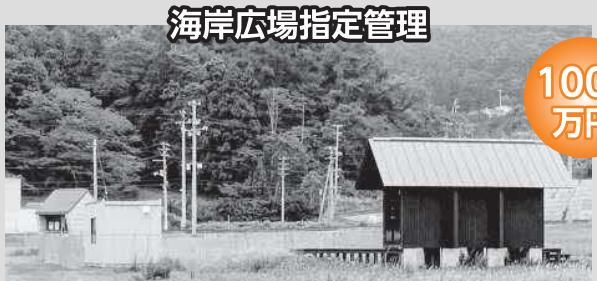
急きよ休みの時など、LINEで連絡が取りやすく助かっています。

40才代女性

海岸広場の建物は…

問 海岸広場で有用性を高める事業展開をしているというものの、町民には見えにくいのでは。

答 町有地は指定管理事業者へ許可し、今キャビンの他、サウナ建設の意向もあり、今後情報共有していきます。



1000
万円

海岸広場指定管理

キャビンの間にサウナを建設予定

文武両道の町をめざして

PICK UP!

AIカメラの活用で町のPRを

問 AIカメラの屋内での活用実績と利用促進の見通しは。

答 室内テニスやミニバスケットの大会などで使われていますが、武道等では使用されていません。利用団体への周知方法が上手くいっていないので改善します。

体育施設用備品購入

825
万円



競技の思い出を映像に

子どもの声が響く公園に

問 ローラー滑り台を撤去したちびっこ広場、遊具の充実で、さらなるにぎわいを。

答 人を呼ぶ施設としての公園を造るため観察もしました。土地の形状も加味し、どういったものが良いのか検討します。

体育施設管理



自然に囲まれた野外活動施設



アスレチックをリニューアルし充実させては。

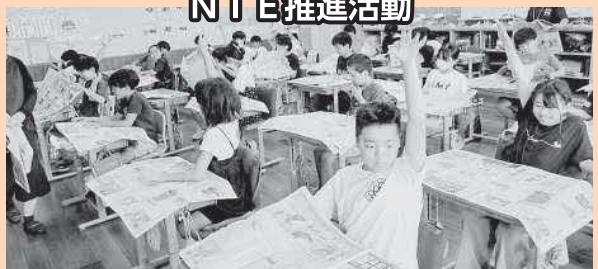
40才代男性

さまざまな観点からの教育

問 NIE推進活動の実践指定校になっていますが、どのようなものですか。

答 新聞を教材とし活用する活動です。活字に触ることで、社会の事に興味を持ったり、国語力を高めることに非常に効果があると感じております。

NIE推進活動



新聞を使った学習、みんな楽しそう

市民の声



学校全体で継続的に取り組んでほしい。
30才代女性

きれいな施設環境の維持を

問 野球場や運動場の雑草が目立ちます。利用者が不快にならないよう管理を。

答 目が行き届いていない状況がありました。利用者を迎えるにあたり、気持ちよく使っていただけるよう、指定管理者に指摘しつつ、一緒に改善に取り組みます。

総合運動場及び女川スタジアム公園指定管理

7889
万円



利用者の目線で管理を

令和5年度 一般会計決算 賛成8人 反対2人

認定

討論

私はこう考える

賛成

反対

宮元 潔議員
私はこう考える
双葉町へ視察に行き、原発事故の恐ろしさを改めて実感。行き場のない核のゴミをこれ以上増やすべきではありません。

これから行政のあり方は原発に依存しない再生可能エネルギーに力を

双葉町へ視察に行き、原発事故の恐ろしさを改めて実感。行き場のない核のゴミをこれ以上増やすべきではありません。

これから行政のあり方は原発に依存しない再生可能エネルギーに力を

阿部律子 議員
私はこう考える
双葉町へ視察に行き、原発事故の恐ろしさを改めて実感。行き場のない核のゴミをこれ以上増やすべきではありません。

これから行政のあり方は原発に依存しない再生可能エネルギーに力を

双葉町へ視察に行き、原発事故の恐ろしさを改めて実感。行き場のない核のゴミをこれ以上増やすべきではありません。

これから行政のあり方は原発に依存しない再生可能エネルギーに力を

特別会計決算の主なもの

国保

マイナ保険証、混乱の無いように

問

マイナ保険証の登録者数と利用率は。

答

被保険者1424人に対し登録者数は924人で約65%です。マイナ保険証の利用率はおよそ18%（166人）です。

社会保障・税番号制度システム整備補助



令和7年7月で紙の保険証は終了します

町民の声

マイナ保険証は持っているけど、顔認証や暗証番号などが面倒でまだ紙の保険証を使っている。

30才代女性

介護保険

行政区でも見守り活動を

問

チームオレンジ発足支援の広がりや団体に対する活動補助金等の実施は。

答

包括支援センターで発足支援をしています。令和5年度は大原北区で発足、今後は旭が丘区等で進めていきます。活動補助金は実施していませんが今後の検討課題です。

チームオレンジ発足活動支援



笑顔でおしゃべりが元気の秘訣

町民の声

カフェを通じて高齢者の話し相手や見守りを行ったり、訪問し声掛け等の活動をしています。

大原北チームオレンジ



一般質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

6議員が質問

町政を問う

隅田 翔議員……………P 11

- (1) さらなる子育て支援策が急務では
- (2) 放課後児童クラブの利用拡大を
- (3) シルバー人材センター設置は

宮坂 千尋議員……………P 12

- (1) 子どもの健康を守る熱中症対策を
- (2) 終活支援で高齢者の生活に安心を

阿部 薫議員……………P 13

- (1) 土砂災害防止対策は
- (2) 出島、寺間地区の環境は万全か

阿部 律子議員……………P 14

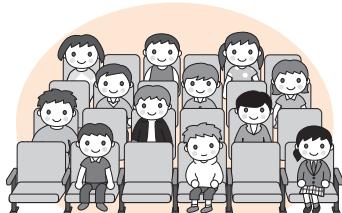
- (1) 実効性のある避難計画、避難訓練
- (2) 観光地女川のPRのための看板を

高野 晃議員……………P 15

- (1) 原発災害避難計画に問題はないか
- (2) 変わる海環境、今後の漁業政策は

鈴木 公義議員……………P 16

- (1) 児童、生徒の学力と体力は
- (2) 海の変化と水産業



議会の傍聴はどなたでもできます。

9月定例会では、老人クラブ連合会の皆さんにお越しくださいました。

※ 各ページのQRコードから一般質問の動画が見られます。

※ 3問目の一般質問は、紙面の都合上、見出しのみの掲載としています。

次の定例会は12月13日からの予定です。

なお、議会中継は女川町議会ホームページで配信しますので、ご視聴願います。

詳しくは、町議会事務局(電話54-3131内線312)へお気軽にお問い合わせください。

隅田
すみた

翔
しよ
議員



問 さらなる子育て支援策が急務では

答 議論を通じてより良いものを構成

答弁者 町長、健康福祉課長、教育局長

問 絵本等について、保育業務の教材として、一定のご負担はかかるべきものと想えます。実費負担の仕組みについては、引き続き検討します。

答 保育所における遠代・写真代・絵本代などの現金徴収は保育士や保護者の負担となるので、無償化や一括納入などで負担軽減を。

問 学校給食法では、保護者の負担をなくす給食費無償を可能としています。物価高騰などによる子育て世代の負担軽減も含めて導入を。

答 保護者負担とするのが、法律の規定になっています。自治体の裁量として、本町では給食費の一部無償化を実施しています。

今年度に母子手帳を発行した人数は現在15人ほどと伺い、出生数はこれまでの半数程度と見込まれます。子育て支援パッケージのようにさらなる子育て支援策が急務では。

問 絵本等について、保育業務の教材として、一定のご負担はかかるべきものと想えます。実費負担の仕組みについては、引き続き検討します。

おながわ子育て支援パッケージ



子育て支援パッケージ（案）

問 放課後児童クラブの利用拡大を

答 学校のご理解を得ながら対応

答弁者 健康福祉課長

問 シルバー人材センター設置は関係団体と協議を継続します

答弁者 産業振興課長

放課後児童クラブの運営について、各種の拡充が望まれております。今後も長期休みの利用も含めて利用者の増加が見込まれます。児童の居場所として、しっかりと受け入れられる体制づくりを要望します。

問 利用人数が多くなった場合には、学校のご理解のもと、体育館やランチスペースを一時的に使用させていただくなど、柔軟な対応をしています。

問 利用時間は、現在18時までですが、保育所では18時30分までです。保護者の仕事と育児の両立のため、時間延長を。

問 委託業者である一般社団法人まちごとこと継続して検討します。



安心して通える児童クラブを

問 子どもの健康を守る熱中症対策を

答 子どもの命を守ることを第一に

答弁者 町長、教育長



荷物の軽量化で負担軽減を

教育現場において、児童生徒の健康を守るために熱中症対策について伺います。

問 運動を制限させない、災害時には住民の避難所になるとの観点から、体育馆に冷房設備の設置を提案しますが、見解は。

答 学校では、熱中症対策ガイドラインに沿って対応しており、さまざまな対応策を考えながら活動しています。冷房設備は、コストや夏季限定使用的面で、慎重にならざるを得ません。

問 登下校時の負担軽減を図るために、使用する予定のない教材の「置き勉」を認める対応は。

答 現在も荷物の軽量化対応を行っています。家庭学習との関連もありますが、もう少し学校と相談してみます。

問 热中症による事故をなくすため、対策の取り組みについて保護者へ周知の徹底を。

答 学校とも相談して進めています。

問 終活支援で高齢者の生活に安心を

答 ご自身に合った支援を検討する

答弁者 町民生活課長、健康福祉課長

問 独居高齢者の割合が高まり、死後の手続きや葬儀を行う近親者がない問題が増えています。

答 女川町高齢者福祉計画において、必要な情報を書き留める「エンディングノート」の利用を促進する取り組みは。

問 終活支援事例として協力会社に予納することによって生前契約を交わし、亡くなつた後に葬送を行つてもうれる事業があります。高齢化率の高い本町でも積極的に取り組むべき事業とどうえますが、見解は。

答 エンディングノートの普及啓発を継続して行い、まもりーぶや成年後見制度の利用など、その方に必要な支援を行なうこととしており、新たな事業を実施する予定はありません。



エンディングノートの活用を

阿部
あべ

薰
かおる
議員



問 土砂災害防止対策は

答 ソフト対策において県と連携する

答弁者 町長、建設課長



答 震災により記録資料
震災により記録資料
震災により記録資料
震災により記録資料

問 点検場所における過去の被害状況は。
答 門前1号沢、浦宿沢
2、旭が丘沢、荒立の沢
であり、いずれも危険度は低いとの評価を受けています。

問 4カ所の点検現場と現況は。

近年は短時間に起る異常気象が全国的に発生。月間で女川町内における点検パトロールが実施されています。



砂防えん堤設置で土砂災害対策を

が滅失しているため推定となります。が、今回の点検場所において、過去の被害履歴を確認することはできませんでした。

問 今後の抜本的対策と計画の実施は。

答 土砂災害におけるハード整備対策は、県が実施することになっており、町はその整備計画を持ち合わせていません。町としては、有効な避難経路、安全な避難場所の確立を行なうなどのソフト対策の充実を図ります。

問 出島、寺間地区の環境は万全か

答 架橋開通後を見据え対応します

答弁者 総務課長、町民生活課長、上下水道課長、産業振興課長

答 環境衛生維持のため、生活排水は適切に処理しています。廃棄物は、復

問 出島大橋開通後の来島者対策関連予算を本議会に計上しました。

12月19日の出島大橋の開通に伴い、島内における震災後の後回しにした課題も露見されています。周辺用地は、島民や地域の意見等も伺います。

問 来島（来町）者対応として、駐車場、トイレ、防犯灯、漁港周辺の整備や改善の進捗は。

答 旧第四小学校、旧第二中学校、旧教員住宅棟等の公共物、財産の取り扱い処理処分と今後の撤去解体計画案は。



なつかしや出島 旧四小二中全景

答 当該施設は、放射線防護施設などに利用しており、土地や施設の現状を踏まえ、貸付けなどの利活用、老朽化による建物解体の検討など、柔軟に対応していきます。

問 実効性のある避難計画、避難訓練

答 実効性の向上に努めていきます

答弁者 企画課長



双葉町、9割が戻れない町に

双葉町へ視察に行き、震災から13年経つても9割の町民が戻れない町との現状を伺いました。

問 これまでの避難訓練参加者のうち、避難用バス利用の参加者の割合は、延べ人数での算定となりますが、1割弱となります。

問 要配慮者のうち、地域医療センター入院患者、施設入所者等の広域避難計画は、具体的にどのような計画ですか。

答 緊急時モニタリングの結果など状況によって避難が必要な行政区を特定して避難指示が行われるため、現状の避難計画で対応できると考えます。

答 原則として、各事業者が避難手段を確保し、避難先へ入所者を搬送することになっています。

問 福島原発事故と同様の過酷事故が起きた場合、風向きによっては、町民の被ばくは避けられません。風向きを考慮した避難計画も必要では。

問 観光地女川のPRのための看板を

答 より良い方法を目指し検討します

答弁者 町長、産業振興課長

答 以前より町民の方から指摘されていた看板の設置については、何度も質問してきましたが、いまだに変化が見られません。

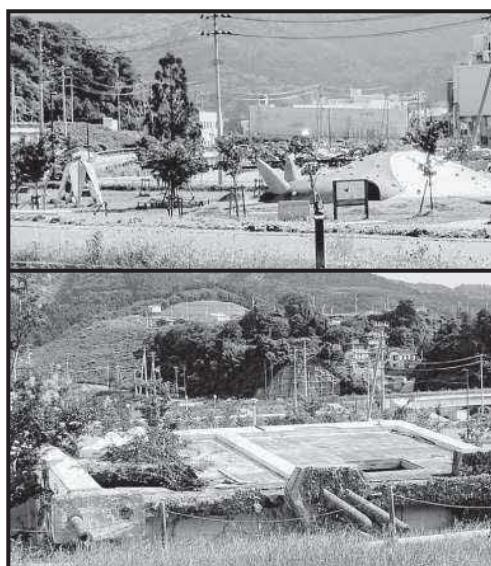
問 震災遺構、マッシュパークの場所を示す看板表示の提案について検討しているとのことですですが、どのように検討されたのですか。

答 検討した結果、震災遺構やマッシュパークへの観光客の方々の誘導は中心部まで足を運んでいただければ、女川駅や商

店街、震災遺構が目に入ると考え、誘導看板の増設は不要と判断しました。

問 観光地女川のPRのため、サウナ等海岸通りの小さな建物の看板表示は十分ですか。

答 観光PR看板の設置は、車両にて本町を訪れるドライバーの目にに入るよう道路脇に設置しておいては、民間所有のため十分と考えます。また、サウナ関係施設看板につ



道路脇に看板表示を

高野
たかの

晃
あさる
議員



問 原発災害避難計画に問題はないか

答 避難計画は問題ないものと認識

答弁者 町長、企画課長



問 福島原発事故時、大熊町の一部では空間線量が1248シーベルトを記録しています。このような事象を考慮すると、民間のバス会社との協定では、安全を担保できないと思いますが。

答 民間のバスで対応が難しい場合は、自衛隊などの実働組織に支援を要請することになります。

問 8月8日に行つた大規模損壊を想定した訓練で3人の方が体調不良になり訓練が中止、延期されました。作業員の救護は行いつつも、訓練を最後まで継続すべきだったのではないかと見ています。

答 訓練の中止は、現場の人を大切にし、事態を拡大させないという意味で適切な判断と考えます。



高放射線検出の車、置き場所は

問 変わる海環境、今後の漁業政策は

答 新たな養殖種に向けて検討

答弁者 町長、産業振興課長

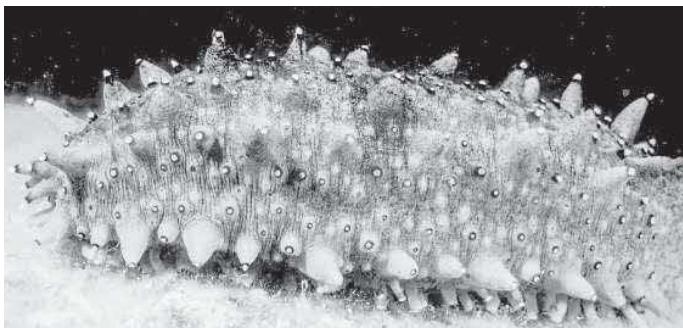
近年、温暖化による海水温の上昇や中国、韓国による輸入禁止等で本町の基幹産業である漁業、養殖業にも大きな影響が出ています。

問 東北大學グループとマナマコ増養殖システムの開発について、現時点の到達点と見通しは。

答 県から真珠養殖の件に関し、本町に対し協力要請等はありません。

問 海面漁業、陸上養殖等について各所に視察を行っていますが、本町のこれから漁業、養殖業の展望、政策は。

答 新しい養殖種を試験面と協議しています。



ナマコ養殖事業化を目指して

問 児童、生徒の学力と体力は

答 学力向上と水泳指導の取組状況

答弁者 町長、教育長



ボクたちプールが大好きです

問 先ごろ、本年4月に実施した全国学力テストの公表がありました。その中で中学生の国語の正答率が前年度より11・7ポイント低いという結果でした。中でも、読み取る力に課題がみられたとのことでした。本町児童、生徒の読み取る力を含め、結果に対する見解を伺います。

答 読み取る力を含めて、本町の結果の詳細は分析中ですが、小中ともすべての教科で、全国との乖離が小さくなりました。

問 児童、生徒の体力づくりの中で、特に水泳の指導について、体育の授業や、夏休みのプール利用状況について伺います。

答 プールの授業は、1学期後半から学習指導要領に沿って計画的に実践しています。夏休み期間中、児童延べ250人、生徒延べ41人の利用がありました。

現在、小学校では算数科目を中心に、中学校では教科を問わず、子どもたちの学力向上に向けて頑張っています。

問 海の変化と水産業

答 水産のまちであり続けるよう

答弁者 町長

震災後の海は、目まぐるしく変化しています。地球温暖化による高水温や海流の変化等により、養殖物のへい死や魚類の不漁が見られ、沿岸域では磯の変化も見られるようになりました。

問 変化に対応できる力強い水産業を構築すべきと考えますが見解を伺います。

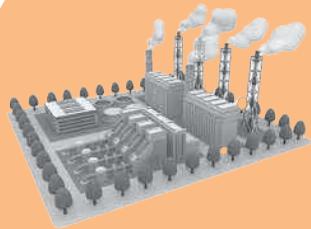
答 行政や生産者が一体となって将来を見据え、持続的に水産のまちであり続けるよう広く多方面に物事を考えチャレンジ



日本全体の漁業生産量は1984年のピーク時から7割減になっています。しかし、世界の漁業全体の消費量は倍増しています。このことについて見解を伺います。

答 日本の漁業全体で資源量に対する各種規制や生産性向上するための法人化等さまざまな課題があり、本当に厳しい局面を迎えていると認識しています。

サンマの初水揚げは早かったが



原発視察でチェック体制強化



原発対策特別委員会

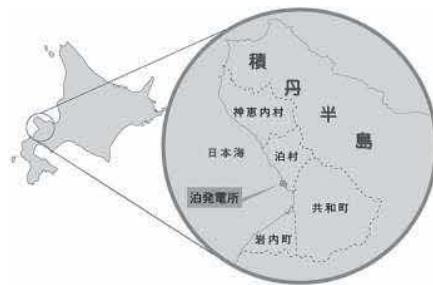
7/10

泊村議会の取組と課題は

安全対策工事による 経済効果は

再稼働に向けた新規制基準をクリアするための新規工事関連企業の作業員による地元への経済効果は限定的とのことでした。

関連企業自体が全てを手配する傾向があり、地元への波及効果が薄いことが分かりました。地元の商工業者からは早期の再稼働が望まれていました。



共同で最終処分地への考え方も

近隣の神恵内村、寿都町の文献調査については、十分に理解を示し、神恵内村とは隣接しているため共同実施することも考えの一つとのことでした。

原子力発電所の立地自治体として、自分で出したゴミは最終的に自ら処理をするといった考えっていました。

7/11

泊発電所の安全対策工事は

泊発電所の歩み

平成元年6月に1号機が運転を開始

平成3年4月には2号機が運転を開始

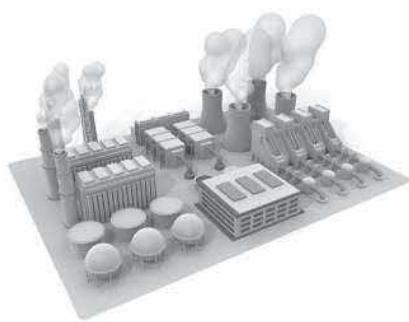
平成21年12月には3号機が運転を開始

運転開始以来、平成22年までの累計設備利用率は80%を超えており、低廉かつ安定した電力供給をしていました。平成23年3月の東日本大震災以降、全機停止状態になっています。

※泊発電所は加圧水型軽水炉です。

安全対策工事の4つの柱

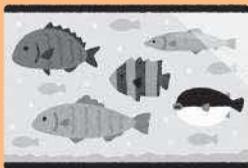
1. 自然現象から守ること
2. 電源を絶やさないこと
3. 炉心を冷やし続けること
4. 重大事故に備えること



安全対策工事を確認

泊発電所では、東日本大震災以降、新規制基準に対応するための工事を行っています。16mの防潮堤を造ったが規制庁から指摘を受けて、津波最高地点が15.6mとなったことや、地盤が軟弱とのことで、岩盤からの施工を余儀なくされ、造り直すことになり高さは19mの予定です。





震災後の水産業の現状と課題



産業教育常任委員会

1/23～
7/24

水産業の活路を探る

委員会活動の経過

担当課から現状を確認

令和6年1月23日

本町の水産業をコロナ禍や混沌とした世界情勢に端を発する物価高騰や地球温暖化等の影響を受けています。これらの水産業を取り巻く状況や直面する課題について、産業振興課から現状を確認しました。

4つのテーマで漁協と懇談会を開催

令和6年2月29日

宮城県漁業協同組合女川町支所の協力を得て、4点の課題をテーマとして懇談会を実施しました。

視察研修その1（NTT東日本視察）

令和6年7月23日

NTT City Laboで完全閉鎖型陸上養殖施設の実証プラントを視察しました。紅サケ養殖ではICT化を活用して生食での流通を可能にする取組も行われていました。

視察研修その2

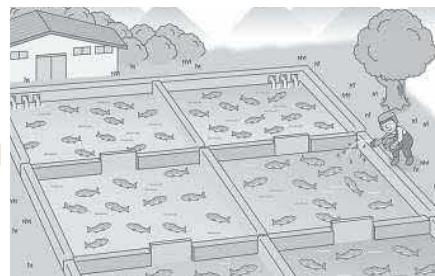
（アクアポニックス・陸上養殖施設）

令和6年7月24日

陸上養殖等の技術開発を実施する企業等の展覧会を、最新技術に関する知見を得るために視察しました。

懇談会の4つのテーマ

- ①温暖化に伴う海水温上昇による養殖魚種の生育不順、死滅、生産減少
- ②物価高騰（稚魚稚貝、餌代、燃料費、電気代、資材等）に伴う経営状況への影響
- ③福島原発の処理排出に伴う風評被害等の問題
- ④後継者確保、世代交代に関する問題（青年部活動の充実、若手従事者就労）



調査のまとめ

地球温暖化による海水温上昇等、物価高騰は燃料代、資材、電気代等漁業者の負担は増すばかりであるので、この状態が平常に戻るまで補助金等の救済策等要望していきたい。海全体の栄養分不足は深刻化しており、ブルーカーボン時代がもたらす産物であり、これらの海の状況を調査することを国・県に強く要望することが必要である。また、閉鎖型陸上養殖の大型施設等の継続した調査研究は今後も必要で、大規模プラント導入については、イニシャルコストやランニングコストを考慮し、漁業者、漁業協同組合、行政等が一体となった連携が必要不可欠である。今後も町執行部、漁業協同組合、議会等関連機関の連携協働が必要で、さまざまな可能性を探求することが大命題である。



読まれる議会広報とは



議会広報調査特別委員会

9/25

議会広報全国1位からの学び

読まれる広報誌の作り方

講師：中本正樹

- (1)読む人の心を設計している
- (2)読む人側の視点で作っている

やってはいけないデザイン講座

グラフィックデザイナー：平本久美子

- (1)デザイン前に必ず決めるこ
→ターゲット
- (2)パッと目に止まるための目立つ！レイアウト
の鉄則
→主役を大きく作る
- (3)これだけで見違える！3つのデザインルール
→ジャンプ率を上げる、フォントは適材適所
に、余白を作り整列させる

東京都虎ノ門のニッショーホールで開催された「令和6年度町村議会広報研修会」に参加をしました。

3人の講師からそれぞれの分野で自身の濃い講義を受けました。日帰りでの東京出張でしたが、移動の疲れを感じないくらい充実した研修を受けることができました。



全国町村議会の広報コンクールで、過去に何回も優勝している「埼玉県寄居町議会」の取組について委員長の鈴木詠子氏から講演を受けました。平均で毎回30人前後の町民の登場など取材に対する努力や委員の中で何度も議論を交わしながら進める編集作業などの取組について紹介がありました。

参加委員の感想

町民のリアルな声を誌面で載せていくことの大切さを感じました。

小・中学生でも関心を持つてもらえるような誌面作りを心がけていきたいです。

行政視察受け入れ状況

他市町村議会議員の皆様が女川町を視察に訪れました。



8/2

議会広報誌の編集について

福島県浪江町議会広報委員会

8/8

公民連携による震災後のまちづくりについて

群馬県前橋市議会会派（前橋令明）

10/3

港と駅を中心とした街づくりと復興状況について

静岡県下田市議会総務文教委員会

今年度は他に7市町村議会からの視察がありました。

女川で輝いている人、団体を紹介しています。



盆踊り復活へ

獅子振りの融合



8月18日に町民の若者有志を中心に8月だヨ！全員集合 おながわ盆踊りがJR女川駅前広場で開催されました。町内外から多くの参加者で賑わい新聞やテレビ等でも紹介されました。どのようにこのイベントが企画され開催に至ったのか舞台裏に迫ります。



ミラーボールも手作り



ミラーボールや灯籠など全てが手作りで夜な夜な製作を行っていた実行委員も少なくありませんでした。

盆踊りも町内の振付師を招いて一から覚えていました。地道な準備作業も楽しみながら行っていたのも多くの人達を喜ばせた秘訣ですね。

議会より
女川の未来は明るい

議長 佐藤 良一
発行責任者 佐藤 鈴木 高野 富坂 阿部 隅田 委員長 副委員長 委員員 委員員 委員員



第四保育所運動会

10月5日、第四保育所の運動会が行われました。

（お母さんのコメント）

昨年は発熱で出られず、

今年が初めての運動会。

一生懸命歌う姿や、走る姿、踊る姿に涙も出ましたが、家族みんな顔が緩んでニコニコにな!

表紙説明